

村内所管事務調査（10月5日）

総務産業常任委員会レポート

調査は、村長、各担当者の同行により、現地で説明を受け実施しました。

● トマムリゾートの村有林施設の管理状況と安全対策

現在使用していない村有施設（オスカー・アビチ）の管理状況を調査しました。建設後20年以上が経過し、外壁等の損傷が著しく老朽化しています。

安全管理について適切な指導をするよう、村へ要望しました。



● 村営住宅・職員住宅の空き家管理と環境整備

村営住宅、職員住宅は全体的に雑草や侵入木があり、除去の徹底と、占冠村営住宅管理条例等に準じた指導を要望しました。

特に宮下職員住宅は、改築を含めて整備を検討するよう要望しました。

村内所管事務調査（11月9日）

総務産業常任委員会レポート

調査は、村長、各担当者の同行により、現地で説明を受け実施しました。

【村有林管理状況】



● ニニウ地区村有林

昨年の春に間伐施業した村有林を調査しました。

田畑泰行林業振興室長の説明によると、トドマツの林分地は10～15年後の皆伐を予定しており、最終伐採林齢は55年で、経級約30㍎、平均樹高約21㍎、最終本数約450本／㍎を目標としているということでした。



● 中トマム地区村有林

干害防備保安林である村有林を調査しました。全木調査のうえ、伐採対象木は立木の育成の支障となる木のみとし、野生動物などの環境にも配慮して、おおむね25%を、25年度から5年計画で施行したい（1年約10㍎）と、田畑室長から説明を受けました。

田畑泰行林業振興室長

道内行政視察レポート

(10月25日)

○行政視察

〔目的〕

今後の新エネルギーの取り組みにあたって、先進地を視察してきました。

〔調査結果〕

①行政視察(帯広市)：国の環境モデル都市に指定されている帯広市は太陽光発電を普及させるため、一般家庭へは設置費用の2分の1（上限15万円）を補助しています。現在約1千戸が利用し、将来は1万戸の設置を目指しています。ランニングコスト（損得）はまだ分からない状況にあります。

帯広市より日照時間の短い占冠村では、太陽光発電の導入にあっては十分検討すべきと感じました。



②行政視察(帯広市)：帯広市内にある土谷特殊農機具製作所で雪氷熱（アイスシェルター）の取り組みを視察しました。

アイスシェルターは、寒冷期に冷気で氷を作り、水の凍るときの潜熱（発熱）で温度低下を防ぎ、氷が融けるときの潜熱（吸熱）で温度上昇を防ぐものです。

北海道の地域資源である寒冷気候を有効利用した新エネルギーですが、まだ開発途上であり、技術、コスト等の推移を見る必要があります。



富良野沿線議員研修会 (10月19日)

富良野沿線5市町村の議員64名が参加し、富良野市で行われました。この研修会は各市町村が、より優先すべき課題について学習を進め、議会活動の向上を目指すため、毎年持ち回りで開催しています。

今回は、「富良野沿線市町村が目指すべき観光のあり方」と題して講演（講師・JTB北海道）がありました。

講演の中では「トマム山・雲海テラス」（北海道感動の瞬間100選）の紹介があり、今後の滞在型観光について学びました。



上川管内議員研修会 (11月5日)

研修会は、上川管内の議会議員約300名が参加し、旭川市内のホテルで行われました。

月刊「農業経営者」編集長、昆吉則（こん・きちのり）さんから「北海道農業の展望」と題して講演があり、「北海道農業は開拓者精神を失い、利権に安住している。北海道がチャレンジして東アジア農業の未来を創っていかねばならない」と叱咤激励されました。

続いて北海道の財政課長、今井太志（いまい・ふとし）さんから「地方財政の現状と課題」と題した講演があり、市町村の財政状況を、「基金額比率・将来負担比率」という指標を使いながら解説がありました。ちなみに占冠村は財政状況では良いランクにありました。また、都道府県で一番財政状況が厳しい北海道の現状と課題についても解説されました。



昆吉則氏



今井太志氏

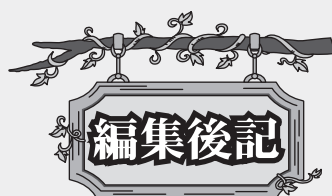
議会の主なうごき

(24年9月議会定例会終了後から12月議会定例会まで)

9月25日	総務産業常任委員会(各委員)・・・高齢者福祉施設について 全員協議会(全議員)・・・ニニウ自然の国等について
27日	住民と議員の懇談会(トマム・占冠地区:全委員)
28日	住民と議員の懇談会(双珠別・中央地区:全委員)
10月1日	広報特別委員会(各委員)・・・議会広報第130号の編集
5日	総務産業常任委員会所管事務調査(全議員)・・・トマムリゾート村有施設について他1件
9日	総務産業常任委員会(全議員)・・・議会臨時会議案説明について
9日～10日	上川管内町村議会議長研修会(美瑛町:議長)
15日	広報特別委員会(各委員)・・・議会広報第130号の編集 富良野広域連合議会総務産業委員会(富良野市:各議員)
16日	第4回議会臨時会(全議員) 全員協議会(全議員)・・・高齢者福祉施設について他1件 富良野沿線市町村議会議長会(秋期)会議(南富良野町:議長)
19日	富良野沿線市町村議会議員研修会(富良野市:全議員)
22日	広報特別委員会(各委員)・・・議会広報第130号の編集
24日	富良野広域連合議会運営委員会(富良野市:各議員)
25日	総務産業常任委員会道内行政視察(帯広市:各委員)
29日	旭川十勝道路(富良野市～占冠村間)打合わせ(富良野市:正副議長)
30日	富良野広域連合議会第2回定例会(富良野市:各議員)
31日	決算特別委員会(全委員)
11月2日	決算特別委員会(全委員) 全員協議会(全議員)・・・プレミアム商品券について他3件 上川管内町村議会議員研修会(旭川市:各議員)
5日	総務産業常任委員会所管事務調査(各委員)・・・村有林管理状況について
9日	広報特別委員会(各委員)・・・住民と議員の懇談会の編集
12日	全国町村議会議長大会他(東京都:議長)
13日～14日	富良野沿線市町村議会議長会道外研修(埼玉県他:議長)
15日～17日	全員協議会(全議員)・・・アートキャンプ事業について他2件
19日	南富良野町議会行政視察で来庁(議長)
27日	総務産業常任委員会(全委員)・・・第5回議会定例会の議案説明他
29日	議会運営委員会(各委員)・・・第5回議会定例会の運営について
12月6日	議会運営委員会(各委員)・・・第5回議会定例会の運営について
13日～14日	第5回議会定例会(全議員)

▶南富良野町議会が来庁

11月27日に、南富良野町第三セクター運営の課題解決のため南富良野町議会の5名が来庁されました。村からは湯の沢温泉について指定管理者選定までの経過を説明し、意見交換を行いました。



新しい年を迎え、今年こそは良い年になることを期待したいが、どうなることやろ？
国政はさておいて、せめて村づくりだけは、村民の声、要望が生き、小さくてもきらりと光る村になってほしいと思っています。

高齢者福祉施設についても具体的な施設名が明らかになるでしょう。

また、村の面積の94%を占める森林、その森林資源を生かした村づくりも具体的な形となってくると思います。

住民も議会も村もそれぞれ知恵を出し合って議論を深め、村民合意を形成し、生き生きとした故郷をつくりたいものです。

新年を迎えた今、議員一人ひとりが初心を忘れず村づくりに努力していきたいです。

(五十嵐記)

▼議会広報特別委員会(前期)

委員長 山本 敬介
副委員長 長谷川 耿聰
委員 五十嵐 正雄
委員 佐野 一紀